

社会資本総合整備計画(第2回変更)
徳島駅前再生計画

令和5年3月8日

徳島県徳島市

計画の名称	徳島駅前再生計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和04年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	徳島市												
計画の目標	本市の中心部である徳島駅周辺、特に徳島駅前の区域は多様な都市機能が集積するほか、鉄道・バスといった複数の交通の結節点としての機能があることから、都市構造上の極めて重要な場所と位置づけられている一方で、近年は空洞化や低未利用地の増加等の課題を抱え、まちのにぎわいにも影響している。当該区域の活性化には、これまでも様々な取組を行ってきたが、本計画により、徳島駅など交通、暮らし、文化の拠点を核とした、都市機能の再整備（まちのリノベーション）を図ることで、より多くの人々が訪れ、滞留・回遊を生み、にぎわいあふれるまちの形成を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	696	A	696	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R4末
1	・中心商店街通行量（平日と休日の各歩行者数の平均値）を18,737人/日（R1）から20,852人/日（R4）に増加させる。 中心商店街通行量調査による歩行者通行量（平日と休日の平均値）	18737人/日	人/日	20852人/日
2	・アミコビル来館者数を7,144人/日（R4当初）から8,265人/日（R4末）に増加させる。 アミコビル来館者数	7144人/日	人/日	8265人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	再開発	一般	徳島市	間接	民間事業者	-	-	徳島駅前再生再開発支援事業	リノベーション 1.4ha	徳島市						456	-	
	A13-002	再開発	一般	徳島市	直接	徳島市	-	-	徳島駅前再生再開発支援事業	地区計画策定に係る調査	徳島市						5	-	
	A13-003	市街地	一般	徳島市	間接	民間事業者	-	-	徳島駅前地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生支援、関連空間整備 1.4ha	徳島市						235	1.65	-
												小計						696	
												合計						696	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	54	80	97		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	49		
交付額 (c=a+b)	54	80	48		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	54	0	2		
翌年度繰越額 (f)	0	80	46		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

暮らし・にぎわい再生事業計画（第1回変更）

徳島駅前地区

令和5年3月

徳島市

1 再生事業計画区域

(1) 計画区域の位置

徳島県徳島市寺島本町西1丁目、元町1丁目、藍場町1丁目の各一部

(2) 計画区域の面積

約1.4ha

(3) 区域設定の考え方

本地区は、県都の玄関口として鉄道やバスといった複数の交通結節機能を有するJR徳島駅前に位置し、南は国道192号線、東は県道13号線に面している。その他、行政、観光、商業等の都市機能が集積する都市機能構造上極めて重要なエリアである中心市街地において、昭和58年に再開発ビルとして整備されたアミコビルは、中心市街地の商業施設の核として永らく徳島駅前のにぎわい創出の一翼を担ってきた。

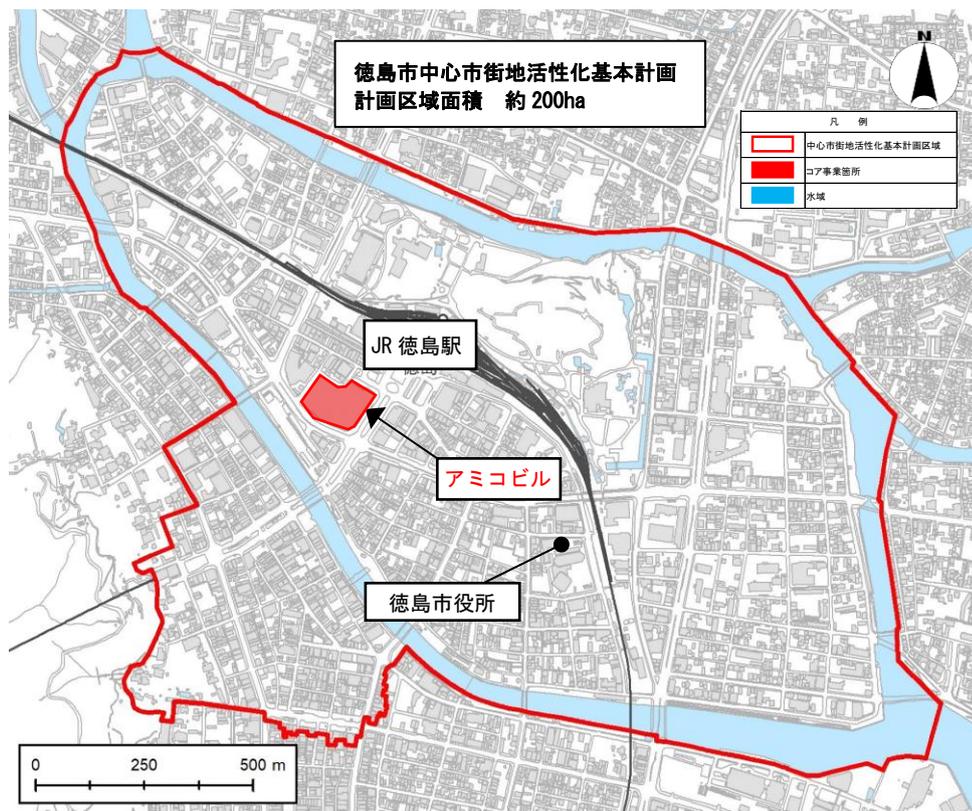
しかしながら、令和2年8月にアミコビルのキーテナントであった「そごう徳島店」が営業を終了し、徳島駅前のみならず中心市街地のにぎわいが失われている状況にある。

一方で、縣市協調の方針の下での新ホール整備やアミコビル再生に向けた取組みが動き出しており、中心市街地再生に向けた流れを確実にするため、本市では令和3年度末の認定を目指して中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んできた。

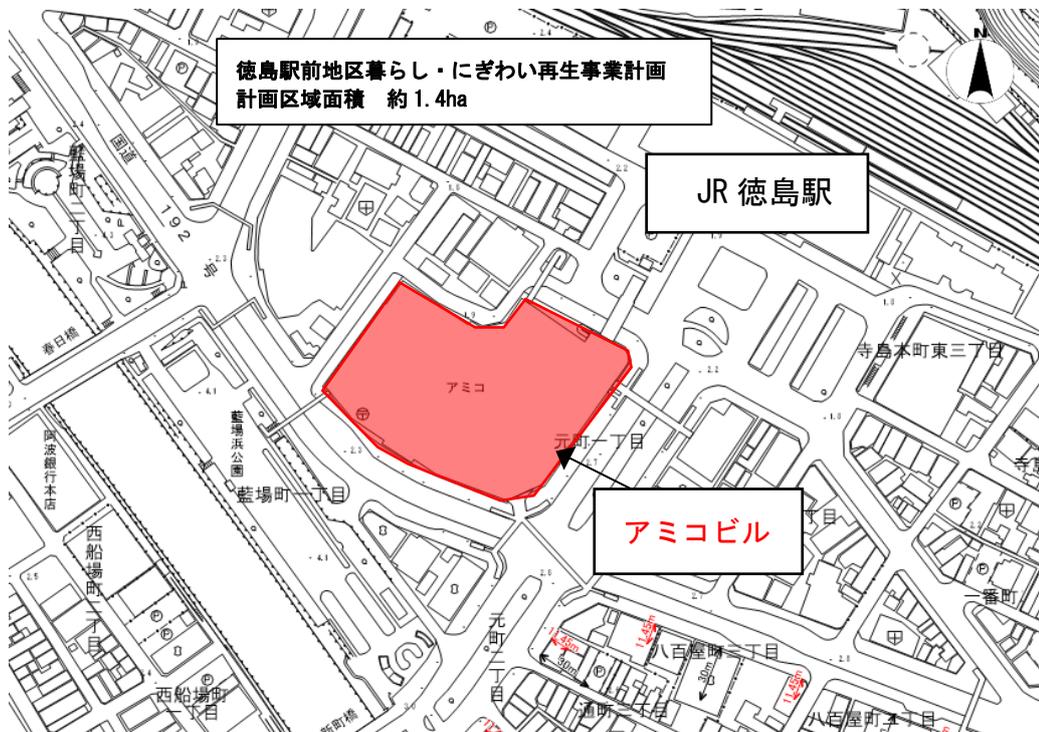
今後は、暮らし・にぎわい再生事業の空きビル再生支援等により、民間事業者が実施するアミコビル改修を本市が支援することで、テナント誘致を促進させるとともに、令和4年度にアミコビルへの移転オープンを予定している徳島県青少年センター等の公共施設と商業ゾーンとの相乗効果を図るよう魅力度の高い施設へと再生を促すことで、徳島駅前の魅力向上による新たなにぎわいの創出を図るものである。本事業の実施は、アミコビル来館者の増加のみならず、来街者の増加による中心市街地の活性化を図ることを目的とし、計画区域を設定した。

2 位置図

【広域図】



【拡大図】



3 総事業費

235百万円

4 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	<p>再生事業計画区域を含む徳島市中心市街地は、徳島藩の城下町として発展し、これまで行政、商業、交通など高次都市機能の集積を図りながら、徳島経済を力強くけん引するエリアとして重要な役割を果たしてきた。</p> <p>令和2年8月末にアミコビルのキーテナントであった「そごう徳島店」が営業を終了したことから、アミコビル来館者は減少し、徳島駅前のにぎわい喪失という危機的な状況を打開すべく、アミコビルの再生を通じた、徳島駅前のにぎわいの創出が喫緊の課題である。</p>
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設	商業施設
3) 都市機能導入施設の整備効果	<p>アミコビルを「Daily&Fun（暮らしにわくわく感を!）」をコンセプトに、徳島県民の体験・体感を通してライフスタイルの質を向上させることに貢献できる場所として再生させ、徳島県の代表的な集いの場となることで、徳島駅前のにぎわいの創出と魅力向上を図るものである。</p>

5 都市機能導入施設等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種類の種類	事業期間
①	アミコビル	コア事業	空きビル再生支援		R4

【事業スケジュール】

番号	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①		R 4 現年事業 --- 実施設計 — 改修工事				
		R 4 繰越事業 --- 実施設計 — 改修工事				

6 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	アミコビル	事業期間	R 4
		補助種別	コア事業	補助区分	空きビル再生支援
		階数	地上13階 地下2階	構造	耐火構造
		敷地面積 (㎡)	13,614.37 ㎡	延床面積 (㎡)	87,653.56 ㎡
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
公益施設（図書館、文化活動施設、公民館）、住宅、商業施設					